



湘南 **にのみや**

桜と菜の花 元気な子どもたち

議会だより

平成22年3月定例会 2/26~3/23

- ◆町長施政方針に3議員が総括質疑…………… 2~4 P
- ◆議会トピックス…………… 4 P
- ◆積極的予算に評価・予算に対する討論…………… 6~7 P
- ◆二宮ブランド戦略など7議員が一般質問…………… 10~13 P
- ◆この人紹介…………… 14 P

6月定例会のお知らせ

6月4日（金）から開会の予定
本会議・委員会の傍聴できますーお気軽にどうぞー

積極的な大型予算 財政問題に議論集中

総括質疑

池田 宏議員

平成22年度予算及び 主要事業の展開を問う



池田 22年度の一般会計予算は、96億1千万円と大型になった訳を問う。

不況時こそ未来の礎を

町長 一番の要因は、風致公園の用地取得費の18億円に加え、従前の児童手当と子ども手当との差額が2億7千万円増え、差し引き約75億円で、昨年よりも約3億円増加した。内容は、新ごみ積替え施設、駅エレベーターの設置、吾妻山公園再整備等の大型事業を積極的に行うためである。

池田 風致公園の魅力ある整備や、中里農道改良に伴う枝線工事と園試第

2圃場の有効利用を問う。
町長 吾妻山が春に對し、秋をイメージし四季を通して楽しめる整備を行う。

農道の枝線改良工事は、通年の観光農業、里山ウォーキングや第2圃場の有効利用を視野に、簡易的な整備を検討する。
池田 町道27号線等の整備に伴い北口駅前が集中すると予想される。車が滞りなく流れる方策と商店街活性化施策は？

商店街活性化にも意欲

町長 北口広場の整備も重要だが、商工会館前の車線を増やす必要がある。



風致公園の北西斜面の竹林整備が望まれる

栄通り商店街は、将来計画に向け委託調査を行い活性化に結びつけたい。
北口商店街は、法務局の移転に伴い駅周辺の空き店舗に司法書士等の事務所誘致の対策を立てる。
池田 総合的な人口減少防止施策で、子育て支援、リストラされた方々や障

がい者の就労支援を問う。
町長 国の緊急雇用創出事業臨時特別交付金を活用し、22年度は23名を臨時雇用する予定である。
子育て環境の充実や、障がい者の就労支援も行う。
池田 風致公園の北西斜面の竹林は伐採を視野に整備することを望む。

小笠原 陶子議員

17億円を越す借金で町民負担やサービス低下は？



小笠原 22年度予算では新たに17億円を越す借金をするが、財政上問題はないのか。サービス低下や公共施設などの料金値上げが懸念される。また、議会費含め聖域なき削減策が必要と考

る。説明責任を果たすために町ホームページに予算全て掲載し、財政責任者による出前財政講座の開催を望む。
町長 無計画に町債に依存はしていない。民間の経理と違うので心配はない。国や県の補助金があつての今回の大型予算。事務経費は継続的に削減している。施設利用料はやみくもに値上げすることは出来ないが、受益者負担が基本であり利用料金は回りまわって将来福祉など自分たちに帰ってくる。一層の経費削減は必要。例えば、温水プールの人件費削減や吾妻山



どこまで期待できるか 観光事業

の管理コスト見直し等。財政課の出前講座は要請があればいつでも行う。
小笠原 吾妻山を核とした日帰り観光を楽しめる町として活性化を図りたいとの考えで予算化しているが、その投資効果はどう試算しているか。
予算組みに心配ない
成果は3~5年かかる

言えない。今何もしなければ二宮がだめになる。人が来るようになれば必ず収益が上がる。春は吾妻山、秋は今年買い取るラディアン裏を整備し、年間通して日帰り観光できる町を作る。
小笠原 第一次産業従事者や商人に偏らない税金の公平な使い方をバランス感覚をもって進めよ。(他に下水道整備計画の見直し・梅沢海岸防潮堤整備基本計画・情報公開と住民参加について質問)

井上 良光議員

後期実施計画の目標は何か 町長選へ再出馬の考えは



井上 現在、にのみや総合長期プランの計画期間が残り3年となり、22年度は後期事業推進計画期間のスタートとなるが実施計画での留意点と目標は何か。

して、情報発信や町民との対話の充実、広域連携の強化、など3つの重点プロジェクトとし、連携をとりながら重点的に実

町長 長期的な視野に立って、町の将来のために果敢に挑戦するため3つのプロジェクトを考えている。①活気ある町づくりとして、農・漁業の再生や二宮ブランドの展開、公園を基点とした観光、ごみの広域化など②安心して暮らせるまちづくりとして、子育て支援、高齢者が安心して暮らせる仕組み、災害対策の充実。③町の体制づくりと

3重点項目で進める

か、考えをきく。

施していく。またこれらの取り組みは行政評価により進行管理を行っていく。

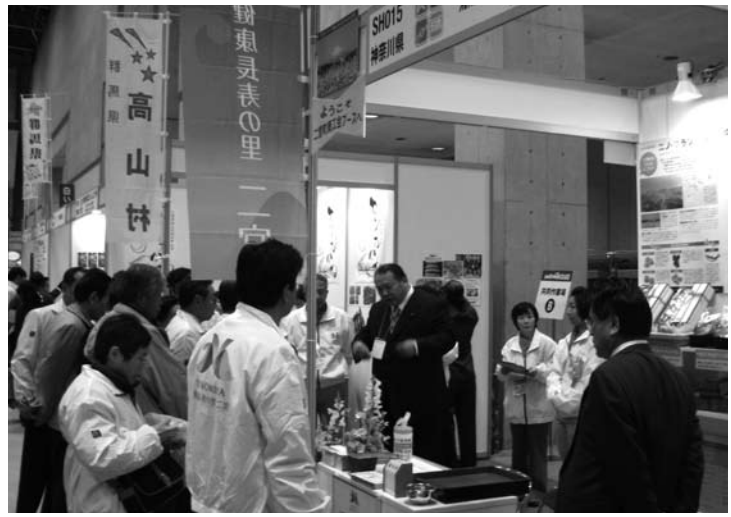
井上 この秋、町長・議員の選挙がある。町民の皆様方が町政に参加する大きな機会の一つである。

町長は現在、在籍3年と数ヶ月がたち、この間を自分自身のように総括をしているのか。時期的には早いかもしれないが、2期目にむかって、再出馬の意向はあるの

引続き町政の舵取りを

町長 私にとって豊かな自然にあふれた二宮は誇りであり、今以上素晴らしい町として次世代に引き継ぎたい。二宮らしさを失わない足腰の強い存在感のある町づくりをするため、全身全霊で引続き町政の舵取りを行いたいと考えている。

(他に町の活性化、環境問題について質問)



二宮ブランド・観光も
総合計画の中で位置づけられる

テレビ放映開始 準備委員会の 報告



議会も放映時のルール作りなどを検討するため、昨年12月に「テレビ放映開始準備委員会」を設置し、次の放映方法が決定された。

平成19年に議会テレビ放映を求める陳情が提出された。議会はその陳情を真摯に受け止め「議会テレビ放映検討委員会」を立ち上げ、放映方法等

を検討した。委員会では、インターネットを利用した放映が最善との結論に達し、議会として同放映方法での要望書を町長へ提出した。

それを受け町は、放映費用、ケーブルテレビ契約状況、視聴簡易度などを考慮し、ケーブルテレビ放映のほう有利との結論に至り、平成22年6月からの本放送に向け、議場整備費を補正予算対応した。

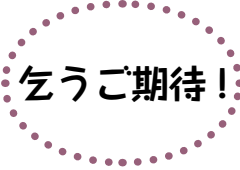
いよいよ

議会テレビ放映が開始

議会テレビ放映が6月議会から本格稼働されるのに伴い、試験放映(カメラアングル等を検証するため、今回の試験放映は湘南ケーブルでは放映しない)が本会議で行われた。議場内の照度もアップされ、3台の小さなテレビカメラが作動する中、総括質疑、一般質問を順次収録した。

各議員もカメラを気にすることなく普段どおりに質疑がなされたが、登壇した女性議員の化粧が念入りに見えるのは気のせいかな・・・

今回は、議会テレビ放映が新しい試みのため、基本的な事項のみの中間報告とした。本委員会では6月議会から本放映が開始された後も、視聴者の声に耳を傾け、現状を把握し、充実したテレビ放映になるよう9月議会前に最終報告を議長へ提出する。



町内3施設が 年中無休に

今回の条例改正で社会福祉センターが町民センターに、公民館が駅前町民会館と名称が変わり、同時にこの2施設に武道館を加えた3施設が年中無休(年末年始を除く)になる。各施設とも、より利用希望者が多く利便性が増すことは間違い無いが、長年親しんだ施設の名前が変わるのは町民にとって戸惑いがあるかも知れない。町執行者をはじめ、われわれ議会も施設名の周知をはかっていく必要がある。それにしても、昭和の匂いのある名称変更は町民の皆さんはどうお思いですか・・・

平成22年度・予算審議

一般会計は町始まって以来
最大規模96億1千万円の予算編成

平成22年度各会計当初予算金額及び本会議採決結果

会計名	予算額	前年度比較	採決結果
一般会計	96億1,000万円	33.2%増	全会一致で可決
国民健康保険特別会計	32億4,400万円	2.2%増	全会一致で可決
老人保健医療特別会計	2,205万円	90.6%減	全会一致で可決
後期高齢者医療特別会計	5億8,144万4千円	6.8%増	10対2で可決
介護保険特別会計	19億3,229万5千円	1.7%増	10対2で可決
下水道事業特別会計	9億6,501万9千円	2.0%減	全会一致で可決
総額	163億3,496万3千円	18.0%増	—

(本会議採決に1名欠席)

予算審査特別委員会は、7議員を選出、各予算案、予算説明資料をもとに5日間の審議と5カ所の現地調査を行った。

委員会の構成

☆ 委員長 杉崎俊雄
☆ 副委員長 二見泰弘
☆ 委員 根岸ゆき子、松木義明、井上良光、城所努、原富士徳

予算審査の結果は、城所委員が一般会計、国民健康保険、老人保健、下水道事業の各特別会計に、また、松木委員、根岸委員が6会計の賛成討論を行った。本会議では、城所努、三橋智子、小笠原陶子、原富士徳の各議員がそれぞれの立場から討論を行い、上記の採決結果になった。



子育てサロンは5月7日に開所式

平成22年第1回定例会議は、新年度予算案の審議を中心に2月26日から3月23日まで開かれた。議案は一般会計予算案と特別5会計の予算案、補正予算5件、条例制定4件、条例改正10件、条例廃止2件、購入契約1件を審議した。

予算審査特別委員会

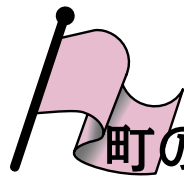


審査意見

各課の予算審議を行っていく中で、議員から様々な要望や意見が出される。それらの要望を特別委員会の委員がまとめ、「審査意見」として提出。

- ① 町有地の売却については、積極的な対応を図りたい。
- ② 町税の長期滞納者をなくすため、滞納審査会の設置を検討されたい。
- ③ 小児医療費助成の対象年齢の引き上げを図りたい。
- ④ 農業再生のため、湘南ゴールドや落花生の普及に努力されたい。
- ⑤ 緊急雇用対策・ふるさと雇用再生交付金などを十分活用し、産業・商業振興に役立てられたい。
- ⑥ 二宮ブランドの商品を広く町民に周知するよう努力されたい。
- ⑦ 婦人会等、各地区の諸団体の活動が活発になるように行政も努力されたい。

三橋 智子議員



町の活性化はかり、将来を見据えた挑戦の積極的予算

町長が重要施策とする観光事業を中心に、町の将来像を明確にして、今後のまちづくりに確かなつながりを持たせた予算編成である。また議会や町民の様々な意見や要望を、充分精査し反映させていることから22年度一般会計及び、5つの特別会計予算に賛成する。

町始まって以来の大型予算は、96億1千万円で

予算 に対する 討論

3/23
本会議

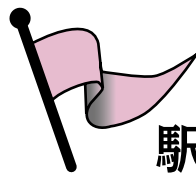
ラディアン裏用地の買い戻し分が含まれる。その整備と(仮称)風致公園構想が打ち出され、日帰り観光・通年型観光への向上的發展に繋がると捉える。ブランド事業は最終段階となり、農・漁業振興の支援体制もとられた。事業費約4億円の子ども手当は、非常に不安定で町の子育て支援にも影響を与えている。母子家庭助成金の見直しを図られたが、ブックスタートや栄通り子育てサロンの開設など新規事業への取り組みは大いに評価し期待する。



職員による庁内清掃が6月より本格的に始まります

高齢者対策として、地域包括支援センターの支所の設置や地区のサロン作りなど、相談体制の拡充が図られている。今後は弱者を孤立させない地域コミュニティの形成とともに推進を要望する。一千万円の経費削減策として、町長自ら庁舎自主清掃を行うと宣言した。その意欲が内外ともに伝わることを願いたい。

城所 努議員



駅南北のエレベーターや道路改良、国保税軽減を評価

一般会計予算は評価すべき施策が多いとの判断から賛成する。賛成の理由は、共産党議員団が要求してきた駅南北自由通路へのエレベーター設置と鳥海議員



駅南北の自由通路にエレベーターが設置されます

が要求した在宅介護奨励金だ。また、懸案だった町道272号線(内原)の拡幅と町道27号線の土地購入関係予算は積極的な対応と評価するが、児童登下校の安全性の確保を要望する。

独居老人要援護者に配布する「緊急時医療情報シート」「こんにちは赤ちゃん訪問事業」有害鳥獣対策の大型・中型捕獲機の購入、漁業再生のための「漁業塾」の開設も評価したい。

一方、母子家庭への助成金は1人3千円を2千円にしたため年1万2千円のカットになり、約200世帯が影響受けるが、弱者への配慮がない。国保特別会計も賛成する。昨年の9月議会で基金1億4千万円を活用し1世帯1万円引き下げを要求したが、結果、基金から5千万円繰入れ、資産割も26%から16%に改正したことによって、前年度より1世帯平均1万5千191円、1人当たりでも6千498円引き下げられた。しかし、介護納付金や後期高齢者支援分を含めると1人当たり11万円の負担だ。更なる引き下げを求める。

下水道計画見直し、公共施設課 設置で老朽化対策評価



小笠原 陶子議員

一般会計、特別会計とも賛成する。今年度は子ども手当支給が始まる。子育ては現金支給よりサービス支給が必要だが一定の評価をする。公共施設課の設置は、私の指摘した施設老朽化対策を計画的な管理と修繕に進めるべきとの要望にも沿い期待する。

一般会計は町債約17億円の過去最大の予算規模。その主な要因は(仮称)風致公園の土地取得だ。土地取得は防災拠点や憩いの場とし議会でも購入を要望したが、町民の反対意見があるのも事実だ。市民参加で合意を得ることが重要だ。

日帰り観光策による町の活性化は本当に町民が望む町の将来か、サラリーマンの多い町として妥当な選択か広く住民に合意を取るべきと考える。

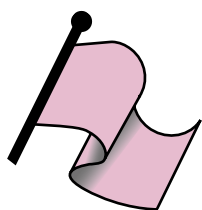
ふるさと雇用再生特別基金補助金と緊急雇用創出臨時特例基金補助金が計上される。活用は議会は勿論のこと、様々な町の委員会等で議論を求む。公共施設の職員配置の見直しや事業削減を実施するが、職員が元気で想像力を発揮できるような労働負担増加と町民サービス低下のないよう要望する。下水道は県計画改定に連動し見直すことを評価。国保会計は国保料金を決める審議会では討議用の資料の充実と十分な時間を取るよう要望。



今年は北新道・中里・百合が丘の
枝線工事が進む

原 富士徳議員

町民生活を重視し、国の制度を取入れた積極予算



平成22年度一般会計予算は96億円と言う二宮町で過去最大の予算規模となった。

二宮町ではこれまで自主財源の少なさから、積極的な予算編成は行われ

なかつたが、本年度は国の制度を利用し、国庫支出金を前年度と比較し313%増とするなど、財源の確保に多くの工夫がうかがえ評価する。

歳出の大きなものは園試跡地買い取りだが、取得費の30%、整備費の40%は国制度を導入し、同時に用地の一部を法務局に貸し、全面積の固定資産税額に匹敵する1千200万円を課し、完成時には、平塚法務局も統合されること明確にされるなど、二宮町経済に新たな展開が期待できる。

小児医療費助成制度が



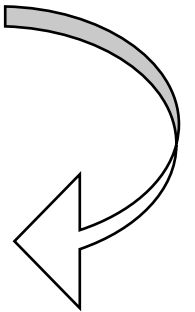
法務局に一部貸与する園試跡地を
確認する各議員

小学校3年生まで拡大された事は評価するが、中井町の中学校卒業まで、大磯町では小学校6年生までと先行しており、今後も制度拡大の努力を要望する。

国保税に関し、資産割の税率を26%から16%としたことは評価する。一部反対のあった後期高齢者医療会計だが、健康保険制度を維持するには必要な制度である。しかし、当初より問題となっている点、制度開始後、明らかにした問題点を早急に解決し健全な制度となるよう要望する。

議会で

決まったこと



学校デジタルテレビ学習 備品の購入契約

各小・中学校にデジタルテレビ50インチ84台や地上デジタルチューナー78台他付属品等の購入契約は、入札に6社が参加したが2社は辞退し、(有)井上電器商會が3千458万7千円(内消費税1

64万7千円)で落札した。なお、夏休み中に設置工事が終わり、2学期から活用される。

主な質疑は次の通り。

問 デジタルテレビのメーカーを指定したのか。

答 指定はしていない。

問 9月議会の補正予算ではテレビは42台の購入予定だった。なぜ増えたのか。計画性がないではないか。

答 最近、テレビが低価格になったため、学校の要望に沿って増やすことができた。

全会一致で可決された。

50インチの大型テレビ導入で教育効果に期待(写真は撤去されるテレビ)



職員手作りの看板で衣替へ



駅前町民会館と 町民センター 名称変更

で、社会福祉センターも町民センターに名称変更する。

「交付団体の使用料減免はどのようなものか」

「廃止について運営審議会で話し合いはしたか」などの質問があり、全会一致で可決された。

両施設とも8月1日より無休(年末年始を除く)となり、利用申し込みは、従来通り各施設に直接の申し込みとなる。

施設の幅広い利用促進及び、効率的な施設運用を目的に公民館を駅前町民会館に名称変更する。

問 使用区分を細かくし、使いづらいのでは。また、そのことにより使用料金が実質値上げになっていないか。

答 町内、町外の利用料金を設け、使用区分は実態に合わせた。

以上の質疑があり、11対2で可決された。

公民館と同様の目的

火災予防条例の改正

個室型店舗の防火安全対策をはかるもので、非難通路の確保に関する項を追加するもの。

問 二宮には該当する建物がないが制定するのか。

答 将来、建物ができるときを想定して制定する。

4月1日より施行。全会一致で可決。

子育てサロン 設置条例の制定

栄通り子育てサロンの開設に伴い、施設の設置と管理運営を定めた条例。目的として乳幼児と保護者の相互交流や相談、援助等を行う。百合が丘子育てサロンもこの条例で位置づける。

全会一致で可決。

国保税の引き下げ

資産割を軽減

国民健康保険税条例 の改正

国民健康保険税の資産割額算定の税率を100分の26から100分の16に下げ負担軽減をはかるもので4月1日より施行。

問 資産割軽減で賦課限度額や均等・所得割などへの影響はないか。

答 資産割軽減で2千700万円の減となる。今後

も資産割の率を上げていく。全会一致で可決。

在宅介護奨励金 条例の制定

在宅介護を推進するため、要介護4または5の認定者を、在宅で介護している家族に対して、1名につき年額3万円の奨励金を支給する条例。

全会一致で可決。

母子家庭等の助成に 関する条例の改正

子ども手当での支給を機に、母子助成金の給付額見直しを行った。児童1人について月額3千円の助成金を2千円に減額するもの。

11対2の賛成多数で可決。

公の施設の廃止及び長期かつ独占的利用に関する条例の改正

公の、特に重要な施設（ラヂオアンや学校など）を廃止する場合や、その一部を3年以上の独占的利用をさせる場合は、議会において出席議員の3分の2以上の同意を得なければならぬとするもの。

全会一致で可決。

職員の給与に関する

条例の改正

労働基準法の改正により、職員の時間外勤務手当について条例を改正するもの。いずれも1ヶ月60時間を越える時間外勤務が対象。手当ての支給割合を100分の125から100分の150に引上げる内容。また、引上げ分の支給に代えて代休時間を指定できる。育児短時間勤務職員にも適用される。

全会一致で可決。

補正 予算

一般会計

1億1千548万4千円の減額補正金額の主なものは町民税、財産収入、町債などが減額された。主な事業は、新ごみ積替施設造成工事、町道63号線（新ごみ積替施設予定地前）、一色小学校校庭改修工事（一部芝生化実験）など。



荒れて大きな溝がある一色小校庭

整備される町道63号線
新ごみ積替施設予定地前



主な質疑は次の通り
問 二宮駅自由通路エレベーター整備に伴う設計料の減額は。
答 3案あったが、少額な設計で決定した。
問 校庭改修はどこまでやるか。
答 暗渠工事を含めて校庭全般の改修を行い、芝

生化実験は100㎡を学校と相談して6月頃実施したい。
などの質疑があり、全会一致で可決された。

国民健康保険特別会計

1億225万4千円を追加補正し、歳入歳出それぞれを34億3千131万5千円とした。

歳出で、被保険者の医療費が約9千984万円、高額療養費約909万円、後期高齢者支援金等も約1千686万円必要になった。そのため、国保会計の一般財源や国庫支出金、前期高齢者交付金、県支出金でそれぞれの負担割合で補う内容。

全会一致で可決された。

老人保健医療特別会計

1千620万円を減額し歳入歳出それぞれを、2千88万4千円とした。全会一致で可決された。

積立金の減額によるもの。全会一致で可決された。

下水道事業特別会計

907万2千円を減額し、歳入歳出それぞれを9億7千487万2千円とした。

主なものは、国庫支出金と受益者負担金1千451万を増額し、町債を減額した。

歳出では水洗化改造等奨励金540万円、公債費約434万円を減額した。

全会一致で可決された。

後期高齢者医療特別会計

1千303万6千円を追加し、歳入歳出それぞれを5億6千488万2千円とした。

主なものは繰入金と後期高齢者医療広域連合納付金で、11対2で可決された。

介護保険特別会計

9千974万円を減額し、歳入歳出それぞれ18億5千803万7千円とした。

主なものは、国庫・県支出金、支払基金交付金減額と保険給付費、基金

訂正とお詫び

134号の神保順子議員一般質問の中で「約4億円近く減額され」とありますが「約2億5千万円」の誤りでしたので、ここに訂正し、お詫び申し上げます。

宙の考えを聞き

3月10日の本会議では、傍聴者が見守る中、7名の議員が町民の身近な問題8件を行政側に質問した。

ここでは各人の質問要旨を掲載する。この記事は本人の原稿提出に基づいて掲載したものの。

一般質問



町内でも設置され始めたLED防犯灯

原 税外収入を得る事を目的に町有施設の利用料を値上げしたが、他の団体では施設の命名権を売買の対象としている。二宮町でも学習センター、コミュニティバスのバス停などの命名権を販売の対象としてはどうか。

町長 町の持つ施設の名称を企業に買っていたら、くなど税外収入も考えられる。但し、個人的な感覚では対象となるのはラディアンぐらいかと思う。

原 町では災害時に対し多くの備えをしているが飲料水企業が災害時用の自販機を提供している。災害発生時には通常販売されている飲料水が無料で利用できる制度だが、

長年の事務内容・習慣に 捉われない行政改革を提案

原 富士徳議員

企業と協力協定を結び災害時に飲料水の無償提供を受けることが出来るか。

災害時には有効な協定

町長 ふだん、普通に売っている自販機がいざと言う時に利用できれば良いことだと思う。ただ、水の確保については泉水の配水池、タンクなど持っており量的には確保されている。

原 町内には防犯灯・街路灯が約2千600基在り、その電気料が1千250万円前後、修繕費が年間420万円使われているが照明器具を電力料金・修繕費の軽減が望めるLEDランプに交換することは出来ないか。

価格動向に注視し対応

町民生活部長 蛍光灯に比べ利点が多い。価格の推移などを見て検討する。

新学習指導要領の改訂に伴う ゆとり教育の諸問題は 二見 泰弘議員



ゆとり教育見直しで学力アップ？

二見 ゆとり教育が始まった平成14年から、学習内容の3割削減・学校の完全5日制・総合学習でスタートしたが、年間授業時数は昭和43年当時から30年の間に、140時間の授業時間数が減少した。この結果、国際学

**学習意欲・思考判断
などについて努力する**

教育長 社会の評価では、家庭や地域の教育力は高まらなかった。大学や企業では、論理的な思考力や問題発見力を課題とみている。一方では基礎・基本の徹底、考える力の育成・個性の伸長・豊かな人間性とたくましい体の育成など、長い目

力テストでは、1位から6位になり学力低下が問題になった。ゆとり教育が実施されてから、子どもたちにどのような変化や成果があったのか伺う。

で見ると効果がある。

二見 新学習指導要領の授業時間の増加について、土曜日の授業・2学期制・長期休みの短縮などしている市町もあるが、

教育長 二宮町では、3学期制継続と1日の授業を増やすことに対応する。

二見 全国学力調査と体力調査の二宮のレベルは、教育次長 学力と体力は、全国平均とおおむね同等の結果である。

二見 ゆとりある環境で楽しい・わかりやすい授業、学習意欲を高める指導を、また健やかに育つ環境づくりを地域とともに
に行う事を要望する。

未来を担う子ども達のために 学校の環境整備の充実を

神保 順子議員

神保 現在、小・中学校の環境整備に関しては緊急対応するのが精一杯の予算組みに留まっている。ここ数年、学校施設管理経費や教育振興経費が減額され続けている中で、学校現場では校舎の老朽化が激しく至る所の補修が必要になっている。にもかかわらず対応が出来る

てない状況や、灯油などの燃料節約、コピー用紙の不足などさまざまなおと懸念されるが教育長の見解を伺いたい。また不審者対策のためのインターフォン設置の要望が各学校から出されていると思うが、設置に対する見直しはあるか。

町予算が厳しい中で教育費は手厚いと考える

教育長 21・22年度は新学校給食センター建設に伴って教育予算全体は増加している。施設整備費を除いた教育予算から見れば19年度から年平均3〜4%づつ減少しているが、限りが無いのが教育予算。子ども達の教育に直接影響する教育振興経費は十分配慮している。

教育総務課長 インターフォン設置に関しては5校一緒に要望が出てきたら予算化したいと考える。神保 学校現場またPTAの意向をくみ取り、子ども達の安全確保と環境整備の充実が優先順位を上げ取り組んで頂きたい。(他「ふたみ記念ホール」の運営)に対して質問)



認知症でも安心して暮らせる町へ 高齢者支援策問う

三橋 智子議員

三橋 「自分や家族が認知症になるかもしれない」と不安を抱える人はとても多い。国は認知症を正しく理解してもらうために2005年から「認知症サポーター」の育成に努めている。町の取り組みはどうか。

町長 認知症は老後の大きな不安要因でもあり早急な対策が必要。施策優先度が高い課題と捉える。

正しい理解で不安軽減

健康福祉部長 今まで11の講座を開き1千320人のサポーターを育成してきた。効果は高齢者や家族が認知症に対して、過度な不安感を持たなくすること、介護者と共にストレスを軽減することである。今後もサポーター育成に努めたい。

三橋 認知症予防に昔話を語って脳の活性化を図



腕のオレンジリングは
認知症サポーターの証です

「回想法」があるが、介護事業での取り組みは考えているか。

健康福祉部長 予防方法の興味あるものの1つとして捉えている。続けて研究していきたい。

三橋 今後、増加する高齢者の方が、気軽に相談等ができるサポート環境を整えることが必要と考

サポート施設を充実

健康福祉部長 22年度か

ら地域包括支援センターの支所を開設し支援体制を強化させる。社会福祉協議会と協力して、高齢者が自由に集えるサロンのようなものを各地域に設けたいと考えている。

二宮町防災行政無線の 難聴地域の解消を

松木 義明議員

だが、町ではまだ未設置である。

先日のチリ大地震による津波情報を広報無線では難聴地域の住民は知ることが出来ない。今後の対応を考えているか。

携帯電話への無料 配信の活用も有効

町長 チリ津波の時は、職員も役場に集まった。放送原稿は簡単にし、音量を上げて発信した。しかし難聴地域には届かなかった。まずは緊急時に情報を行政無線と携帯電話に無料配信するのは是非登録してほしい。難聴

難聴地域に町の配慮がほしい



地域については解消にも引き続き努力する。

松木 昔、有線放送があった。今は無線で受信できるのでこのような受信機を難聴地域の世帯に配布か貸与できないか。

町民生活部長 平成16・17年度の継続事業でデジタル化工事を実施し全町内に42基を設置。スピーカーの向きも調整したが、現在も百合が丘北部、川勾地区から聞えないと言われる。今後、職員と業者で現状確認する。戸別受信機については、採用市町によると購入費と維持管理費が必要になり、運用面で問題がある。

国保税を引き下げ滞納者への 資格証・短期証発行やめよ

鳥海 恭子議員



鳥海 町の国保世帯は5千300世帯。22年度資産割額を26%、16%の引き下げは評価する。21年度大磯町、中井町との比較は、国保税、介護納付金、後期高齢者支援分も二宮町が高い。保険税が高く払いたくても払えない

い世帯が1年以上滞納すると資格証(窓口10割負担)短期証(3ヶ月、6ヶ月だけ有効)になる。但し、中学生以下の子どもに資格証発行はなく、今年7月から高校生以下に拡大した。後期高齢者医療は「資格証発行を止めよ」と国から通達が出された。資格証の発行は病気の早期治療にはならず重篤になりやすい。国保の資格証を発行していない自治体は大磯町、中井町、鎌倉市など6市町もある。参考にして資格証、短期証の発行は中止すべきだ。申請減免も広く周知を求める。

健康は医療費の増大をおさえ税の引き下げに

町長 保険税の負担軽減を図る一助として資産割を引き下げた。今後も横断的な対策チームを立ち上げ滞納額の減少を図る。健康福祉部長 滞納世帯は731世帯。所得減少などの理由による滞納だが、休日の納税窓口開設や分納など納税相談を行なっていく。



試食会第一弾はふるさとまつりの会場で

町長 県が取り組む湘南ゴールドを町でも3年前から試験的に3本育てている。来年度本格的に取り組む。駅前が頑張っている店もあるが、高齢化を迎えた店もあり繁忙期をやりこなす難しさがある。環境が整うまで待つてほしい。経済効果は時間がかかるが相乗効果を生めば結果的に町の盛人となる。

通年を通じた観光事業を展開したい

後開発商品のPRと販路確保が課題。また日帰りの観光ツアーにより集客力ある取り組みをしたい。

ブランド事業の投資は将来
負担増にならぬ基盤作りを

根岸 ゆき子議員

根岸 ブランド作りに3年間取り組み、いよいよ本格的に評価されることになる。次のことを確認したい。①今後の展開について。②県や任意団体などと情報共有して民を支援する体制が必要だが現在の進捗はどうか。③菜の花の時期、特に駅前北口通りは町の顔になる。

もう少し景色の華やかさが欲しいとの声を聞くが取り組みに対する考えはあるか。④町長が経済効果をうたうのであれば目標設定をすべきではないか。都市経済部長 ものづくりに健康の食をテーマに11品目を開発し、2月にビッグサイトで展示発表と市場調査を実施。今

この人紹介

雨の日も風の日も、児童の交通安全を見守り続けて10年

梅沢の
関山敦子さん
(山西960番地)

雨が降っても、風の強い日も二宮小学校の生徒が登下校する時間になると必ず黄色い帽子と「子供安全六トロール」の腕章を着けた人の老婦人が、内原人道橋付近で交通整理をしている。その人は77歳になる。関山敦子さん。



「おはようございまーす！」
「気をつけて、行ってらっしゃい」

「大変だよね、頑張ってる」と通行人から声がかかる。その間も視線は子どもたちと車に。「道路は

ダメよ。歩道に入りなさい」「さあー早く渡りなさい」と道路の中央で両手を広げて子どもたちを温かく誘導する。そして、春休みの休校日でも、進入禁止の時間帯に進入しようとするドライバーを阻止する勇気ある行動に、交通違反をせずにすんだと感謝されることも。

「以前は、態度の悪い子どもも目についたが、最近の子どもは親の躰がよいのか『いつもありがとう』と言葉をかけてくれることが多くなったのが一番うれしい」と関山さん。このボランティアを始めた理由を聞くと「以前やっていた人が代わって欲しいと頼まれたから」と笑顔で話す。ご主人も、この行動を元気なうちは続けたいと協力的だという。関山敦子さん、健康にお気をつけて、子どもたちのためにもいつまでも続けて下さい。

★ カメラルポ ★

人力車からながめる
夜桜もまた、風流



6年生から新1年生への歌のプレゼント(一色小入学式)

編集室だより

早春の菜の花や花見の桜でにぎわう、わが町の観光スポット吾妻山。公園がオープンされた昭和62年に、これほどの盛況ぶりを想像できた人はいたのでしょうか。長い月日をかけて、公園整備や広報のために尽力された多くの方々に感謝の思いがあふれます。

3月議会では平成22年度の予算を審査しました。未来の町民の方達の喜ぶ顔を思い浮かべながら、議員も執行者も真剣に議論を交わしました。この議会だよりでその一端を、少しでも感じていただけたら幸いです。

6月議会は、4日開会予定で住民が関心の高いテレビ中継が始まります。傍聴とあわせてご視聴ください。

- 議会だより編集委員会
- 委員長 井上 良光
 - 副委員長 城所 努
 - 委員 神保 順子
 - 委員 松本 義明
 - 委員 根岸ゆき子
 - 委員 三橋 智子